

市政を問う!

17議員が登壇 (一般質問)

観光振興はどうする

山内 憲一



山内 市長の施政方針で「地下道による見学施設設置」とあるが、具体的には。

佐藤総務課長 ガス規制の現状といたしましては、開放率が68・96%で約3割の人が火口を見ることができませんでした。安心・安全にいつでも見れる一つの案として、地下道を通り火口壁に行ける方法を専門会社へ企画提案させ、審査委員会で業者を決定する考えです。9月又は10月には阿蘇火山防災会議に提案する予定です。

山内 地下道を利用し火口が覗ける施設を市が造るのであれば、火山博物館に対して補償が必要と思うが。

市長 火山博物館には貴重な資料があり、連携が必要だと思います。それと、人命の問題、これが一番大事でありますので、通行料の一部を基金に積立し、お客さんに保険を掛ける配慮が必要であると思います。

山内 あびか周辺の整備構想は、三ツ塚周辺も整備をすべきと思うが。

日田教育課長 あびか内の一部を利用し、サッカー場、フットサル場など多目的な利用ができないか検討しています。

入湯税について

山内 入湯税の還元を条例に示してある5割にまで引き上げて、すばらしい温泉地づくりをすべきではないか。

吉良商工観光課長 現在、入湯税の3割を助成していますが、今後地域づくりを進める上で5割の助成ができるものと思います。

他に「内牧にある保養所の活用について」、「泰山荘一帯の水害対策を急げ」の質問がありました。



山上火口西口監視所

学区区の考え方について



古木 孝宏

市長 検診をしていただくよう、その都度しっかりと意識しながら発信していきます。

信号機の時間設定について

古木 校区外からの通学について説明を求めます。
岩下教育部長 児童生徒に事情がある場合、申し立てにより校区外に変更できる指定校変更の制度があり、教育委員会で承認の可否を決めています。

古木 国道の信号機の時間設定で2箇所の改善をお願いしたい。阿蘇警察署横の交差点の信号機は35秒と長く、坂梨の57号と265号が交差する信号機が18秒とあまりにも短く危険であり、朝夕の渋滞を引き起こしている。
佐藤総務課長 警察署に現況をしっかりと見ていただき対応をお願いします。

古木 検診率65%達成への方策は。
城健康福祉課長 平成24年度までに達成しなければ保険税の負担増になるため、集団検診、人間ドックの回数増や自己負担金の軽減、医療機関との連携による検診率アップを図っていきます。
古木 検診を受けていれば助かる命もたくさんあり、家族も悲しい思いをしなくて済む。そのためには広報活動を市民にしなければならぬ。市長はいろんな所で挨拶をされているが、その中で特定検診を受けるよう、受診の大切さを訴えて欲しい。



特定健診風景

中核病院として早期実現を！



田中 弘子

園や、九州新幹線全線開業をビジネスチャンスと据えています。

新阿蘇中央高校について

田中 中央病院建設に伴い地域医師会との連携は。
岩下中央病院事務局長 新任の部長（任期付職員）を迎えますので、4月から医師会に説明をする考えです。阿蘇中央病院が今後担うべき役割が熊本県の地域医療再生計画に示してありますので、古くなった建物を整備して、阿蘇医療圏内の医療機関と地域連携を図り、阿蘇地域の中核病院にしていきたいと考えています。

田中 進学の状況は。
岩下教育部長 平成22年度の募集人員は280名でした。阿蘇市の中学校卒業生は274名でしたので、非常に少子化が進んでいます。特に農業関係学科の希望が少ない状況です。今後も高校と連携を取りながら、地元高校の魅力・利点などの情報を提供していく必要があります。

田中 病院の建設地は。
中央病院事務局長 場所については未定ですが、今後のスケジュールから判断して22年度に決定して、作業に取り組みたいと考えています。
内牧空子家対策について
田中 事業の進捗状況は。
吉良商工観光課長 平成17年から21年まで空き家対策事業を44件実施しています。今後ファミリー公園開



あそ街角ギャラリー (内牧)